

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】観光人材確保促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光文化スポーツ政策課
 サステイナブル・ツーリズム推進室
 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,500 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,500	6,800	0	0	0	0	0	0	1,700
決定額	8,500	6,700	0	0	0	0	125	0	1,675

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

コロナ以前から従業員の高齢化や賃金水準の低さ、労働環境の厳しさなどにより慢性的な人材不足が課題となっていたが、コロナ禍における他産業への人材流出や急速な観光需要の回復などにより人材不足に一層拍車がかかった。これらの影響により、観光産業のイメージが低下し、観光産業に興味があっても就職をためらう者が増えてしまった。

昨今の観光産業が置かれている状況では、県内観光事業者が単独で人材を確保することは困難であるため、県が主導して、地域、業界、大学、専門学校等と連携して、観光産業のイメージを向上させるとともに、観光人材の確保を促進する必要がある。

また、併せて生産性向上により業務の効率化や就労環境の改善を図り、県内観光産業のイメージアップを図る必要がある。

(2) 事業内容

県内観光事業者向けに以下の取組みを行うことで、観光人材の確保を目指す。

①県支援機関の活用促進による個別伴走支援の充実

- ・宿泊事業者で構成する組合等と連携し、各圏域で県支援機関に関する説明・PRを実施

②求職者とのマッチング支援

- ・宿泊事業者と連携した出前講座の開催
- ・大学、専門学校等とのネットワークを活かした学内合同企業説明会の開催
- ・各種就職フェアの情報収集、提供
- ・全国の大学、専門学校等へのアプローチ方法の伝達

③生産性向上の支援

- ・大学の生産性向上支援セミナーと連携し、経営者向け普及啓発セミナーの開催やアフターフォローとしてのコンサルティングを支援

(3) 県負担・補助率の考え方

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	137	各圏域における県支援機関に関する説明会、出前講座謝金
旅費	700	費用弁償、業務旅費
消耗品費	63	事務用品
役務費	100	通信費等
委託費	7,500	生産性向上セミナーの開催、コンサルティング
合計	8,500	

決定額の考え方

③のうち「アフターフォローとしてのコンサルティング支援」について一部事業者負担を求めることとします。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- 県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト
 - (3) 地域連携による観光人材の確保・育成

(2) 国・他県の状況

観光人材の確保は、国等でも取り組まれている。

(3) 後年度の財政負担

短期的に解決できる問題ではなく、一定期間、継続して行う必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県が主となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
観光産業のイメージを向上させるとともに、各種取組により、観光人材の確保を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

実際の採用人数を把握することが困難であるため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	<p>宿泊業の採用力強化・人材定着に向け、セミナーを実施するとともに、民間の人材採用プラットフォームを活用した求人・採用を高山市内で実証した。 【民間プラットフォームによる採用者数】22人</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	<p>宿泊業の採用力強化・人材定着に向け、セミナーを実施するとともに、民間の人材採用プラットフォームを活用した求人・採用を飛騨地域で実証した。 【民間プラットフォームによる採用者数】41人</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>コロナ禍を経て観光需要が増加する一方、観光産業は人材不足であり、十分に需要を取り込めていない。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>民間の人材採用プラットフォームを活用した求人・採用を高山市内で実証した結果、41名の採用があり、事業の成果が上がっているといえる。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>令和7年度の事業実施経過により得られた課題について、その解決を図る内容が盛り込まれている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県が「世界に選ばれる観光地」としてさらなる成長を遂げるためには、本県観光産業の魅力を広く発信し、人材確保を進める必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 観光産業の人材確保は短期的に解決できる問題ではなく、県旅館組合等と連携した継続的な事業実施が必須である。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】